

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	自転車駐車場施設管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	02	01	14	01	05
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	道路管理課					
施策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保	主管課長	鈴木 和男					

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流鉄線3駅、東武線3駅周辺における放置自転車等	意図	放置自転車の撲滅
事業内容	・市内における放置自転車対策及び放置自転車防止に係る指導・啓発活動等により、住民が快適かつ安全に利用するための放置自転車対策を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	・全体的な放置自転車の数は減少傾向にあるが、商店街や駅前など特定の場所には依然として放置自転車が見受けられる。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		放置自転車台数（流鉄線沿線3駅）	74	44	34	台	
	放置自転車台数（東武線沿線3駅）	1,226	1,062	836	台	↓↓↓	
指標で表すことができない定性的な成果	・東武線沿線3駅を重点的に指導・啓発することにより良好な駅周辺環境を維持している。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業の総コスト(a=b+c)		55,633,175	52,840,523	55,065,255	・駅周辺放置自転車防止対策事業の拡充及び継続が、放置自転車の減少に結びつくものと考察されることから、今後とも委託業務にて推進する。		
事業費（b）（円）		47,907,175	47,250,923	48,824,427			
うち一般財源		47,907,175	47,250,923	48,824,427			
職員給与と費(c)(円)		7,726,000	5,589,600	6,240,828			
人役・職員(人)		1.00	0.80	0.80			
人役・再任用(人)				0.30			
人役・臨職(人)		0.50					
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					
					コストの削減	C 削減の余地が大きい

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	・自転車が多く放置される箇所を再調査し、委託業務の人員配置等へ反映することで業務の効率化を図る。	取り組みの課題	・蓮河駅と江戸川台駅周辺の放置自転車が流鉄線及び東武線沿線駅の中では多いため、恒常的に自転車が放置される箇所については重点的な対策を行う必要がある。
今年度(H26)に実施した取り組み	・特に放置自転車が多い、駅周辺の対策として駅前放置自転車クリーンキャンペーン等を集中的に実施し、業務の効率化を図った。	今後の改善計画	・関係団体と連携し、駅前放置自転車クリーンキャンペーン等の啓発を継続することにより放置自転車の防止を図る。